



# 読み書きの困難の集団アセスメント

## 説明会・簡易アセスメント 開催のお知らせ

### 【お子さまにこのような困難さはありませんか？】

読むスピードが遅い、たどたどしい、飛ばし読みをする  
書くのを嫌がる、漢字が書けない、意見は言えるのにそれを書こうとすると書けない  
問題などを読んであげると答えるが、自分で読んで答えるのが難しい  
英語が始まって苦勞している

このような症状があるディスレクシアは人口の約10%いるといわれます。読み書きの困難さを、一人ひとりに合った教材の工夫や、代替手段によって補うことができます。内容理解や自己表現の仕方さえ身に付ければ本来の力を発揮できるように、法整備や教育・福祉の施策も進んできました。そのために一人ひとりの困難さを知るためのアセスメントが必要になります。

本検査では診断を出すことはできませんが、お子さまに読み書きのスピード・流暢性と正確性についての簡易アセスメントを実施することで、実際にどのような困難さがありどのような対策が効果的であるかをご提案いたします。

11月4日（土）は、ディスレクシアについての説明やアセスメントを受ける意義、家庭でできることや合理的配慮を受けるまでの流れについての説明会を開催いたします。

参加ご希望の方は下記QRコードより登録フォームで事前予約をお願いします。

説明会 講師 : 藤堂栄子 (認定NPO法人エッジ代表・星槎大学特任教授)  
対象 : 保護者・教員

アセスメント : NPO法人エッジ認証アセッサーが担当  
対象 : 小学2年生から中学3年生の児童  
港区在住・在勤・在学の方は先着順、それ以外の方は抽選です  
結果 : アセスメントの約4週間後にメールでお送りします

会場 : 障害保健福祉センター(ヒューマンぶらざ) 港区芝1-8-23  
参加費 : 説明会、アセスメント共に無料



アクセス

日付	時間	申込期限(先着順)
11/4(土)	説明会: 14:00~14:45または15:30~16:15 各回140名	10/29(日)
	アセスメント: 14:00~14:45または15:30~16:15 各回 20名	
11/11(土)	アセスメント: 9:30~10:15または10:45~11:30 各回 20名	11/5(日)
11/18(土)	アセスメント: 14:00~14:45または15:30~16:15 各回 30名	11/12(日)

#### 【当日の感染症対策について】

- ・座席は十分な間隔を空けてお座りいただきます
- ・当日熱が37度5分以上ある方はご遠慮ください
- ・ご入場の際に、アルコール消毒にご協力ください
- ・大声での会話はご遠慮ください



←10個の質問に答えてディスレクシアの傾向があるかチェックしてみよう  
回答コード: minato2023

お申込はこちらから→



主催: 認定NPO法人エッジ <https://www.npo-edge.jp/>

〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル4階

お問合せ: [edgegroup.assess@gmail.com](mailto:edgegroup.assess@gmail.com) (担当: 樋口、岩田)

お問合せの際はメールのタイトルの始めに「港区」とご記入ください

後援: 港区教育委員会

助成事業: 読み書きのスクリーニングとアセスメント(日本財団)

協力: 東京工業大学 野原研究室